津幡町河合谷地域活性化プロジェクト

団体名●地域スポーツマネジメントゼミナール、石川ゼミナール 代表者名●西村貴之(人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに(背景・目的・目標)

石川県津幡町河合谷地区には、木窪大滝や「牛舞坊」等の豊かな自然・文化資源と、小学校改築のために村(旧河合谷村)をあげて禁酒に取り組んだという全国的にみてもユニークな歴史のある地域である。しかしながら、地区人口は1990年に比べて約60%減少するなど高齢化が進んでいる。

以前から河合谷地区での地域貢献活動を行ってきた地域スポーツマネジメントゼミナールに、今年度は経済学部石川ゼミが加わるかたちで、河合谷地区の地域資源の魅力を発見し、それらを多くの人びとに体験してもらうような活動を目指した。

活動内容

今年度の主な活動内容を表にまとめた。これらの活動は、地域スポーツマネジメントゼミナールのプロジェクト担当学生(4年生2人、3年生1人)が中心となり、河合谷公民館や住民の皆さんと意見交換・各種調整を行いながら進めた。そして、10月にオータムフェスティバルを開催するという大きな方向性が決まった夏頃から石川ゼミ(2年生14名)が加わった。オータムフェスティバル以外にも、花植え等のボランティア活動や水生昆虫の観察、祭りや歴史に関するヒアリング、町内のマウンテンバイクパークの見学等を通じて、住民との交流や地域の多面的な魅力について理解を深めた。

成果、結果の考察

初開催となった「オータムフェスティバル in 河合谷」には、老若男女・町内外問わず多くの人びとに参加していただくことができた。また、イベントを通して、来場者がコロナ禍に開業した会場施設の魅力に気づく、移住関心者が住民とつながりをつくる、参加学生が「子どものいる環境」に興味をもつ等の副次的な効果も生まれた。

今後の課題、展望

今後は、オータムフェスティバルの開催を継続するとともに、地区の皆さんとの対話を通して河合谷の地域資源のさらなる活用に取り組んでいきたい。

時期	活動内容
4~5月	学内外の関係者との意見交換等
6~8月	大滝公園での花植えボランティア/大滝竹燈籠(ライトアップイベント、8月12日開催)/本学・中央大学・石川県立大学による合同フィールドワーク/秋イベントに向けての調整・打ち合わせ等
9~10月	秋イベントに向けての調整・打ち合わせ・試作・リ ハーサル/オータムフェスティバル(10月14日 開催)
11月	河合谷の郷収穫祭でのボランティア







写真:オータムフェスティバルの様子とポスター